

テーマ	部門別個別原価計算 (I)						
学籍番号							氏名

1. 次の資料に基づき、保守部門勘定、予算差異勘定、操業度差異勘定の記入を行いなさい。

【資料】

- ① 当工場の原価部門は、製造部門として切削部門と組立部門の 2 つがあり、補助部門として保守部門がある。
- ② 当工場では、保守部門費の変動費については予定配賦率にサービス実際消費量を掛けた金額を配賦している。
- ③ 月間の保守部門サービスの予定消費量は 400 時間で、保守部門費予算は変動費予算額が 800,000 円、固定費予算額が 1,920,000 円である。
- ④ 当月の保守部門実際発生額は 2,688,000 円であった。
- ⑤ 製造部門のサービス実際消費量は 370 時間で、そのうち切削部門が 210 時間、組立部門が 160 時間である。

保 守 部 門		(単位：円)	
実 際 発 生 額	2,688,000	切 削 部 門	()
		組 立 部 門	()
		予 算 差 異	()
		操 業 度 差 異	()
	()		()

予 算 差 異		(単位：円)
保 守 部 門	()	

操 業 度 差 異		(単位：円)
保 守 部 門	()	

授業の感想など	
---------	--